

在首者確認攻撃を粉碎する。

新聞に於て、「八退院權は学生部が持つてゐる文書も、一方實質的問題として、切って当然」と宣言した。今回の在籍歌には、「学生部が主めて、いつまで「せせら」といつ題付けて、学生部に「在籍」として、「歌」などと記された歌詞が、構図めたものだ。

「私は二から、確認の必要がある。」  
「こののは、全くのデータである。」  
何よりの証拠に、半生部は「確認」  
で済む。ほかの者は個人的に書き込まれ  
り付け、更にその親元にまで又書き込み  
てあるのである。出生部の狙いは、  
唯一、この文書を通じて入退寮権を奪  
回せぬかが、筆者たる我にあつては、  
この。」